



ハッピーバースデープロジェクト

笑顔咲く、子ども達の夏祭り

8月26日(水)、夏祭り当日。「今日は夏祭りなんですよ!たのしみ!!」児童クラブに到着した私達を子ども達が出迎えてくれました。いつも以上に盛り上がる子ども達の期待に応えようと、私達は急いで祭りの準備を始めました。今回の祭りでは、ヨーヨー釣り、スーパーボールすくい、わなげ、くじ引きの四つのゲームを用意しました。その他にも、先生方の企画した 피자作りの体験コーナーや、から揚げ屋さんといった楽しい出店があり、子ども達は大はしゃぎでした。夏祭りの後半には、子ども達が私達に対して、可愛いダンスや風船を使ったマジックなどを披露してくれました。そして最後に、メンバー1人1人に子ども達からメッセージ付きの手作りプレゼントまでもらい、子ども達の心温まる演出に嬉しく思いました。当日は、私達の夏休み期間中だったこともあり、メンバー全員が集まることのできる時間が少なく、打ち合わせや準備が思うように進みませんでした。ですが、集まったメンバー全員が協力することで、夏祭りは無事に成功させることができました。来年は子ども達に、より楽しんでもらえる夏祭りになるように、夏休み前から夏祭りの企画・準備の打ち合わせを十分に行うなど、もっと計画的に準備を進めていきたいと思えます。このように様々な課題はありましたが、共働きの家庭が増えていく中で、学童を必要とする家庭もますます多くなっていくと思えます。私達が活動している東朽網小放課後児童クラブも例外ではありません。私達は活動を通して子ども達が少しでも寂しい思いをしないで楽しめるように、これからも子ども達と絆を深め、活動を続けていきたいと思えます。(記者:下田)

※放課後児童クラブ:保護者が仕事で日中いない家庭の子どもを対象として、放課後に遊びや生活の場を与えている保育事業のこと。略称は「学童」。



ハッピーバースデープロジェクトは、小学生を対象に誕生日会の企画・実施を主に行っています。このプロジェクトは東朽網小学校放課後児童クラブの先生から、「毎月行っている誕生日会をもっと盛り上げて欲しいので大学生に手伝ってほしい」と言われたことをきっかけに始まりました。具体的には、毎月1回東朽網小学校放課後児童クラブを訪れ、「手作り」を重視した温かみある誕生日会を開催しています。オリジナルのバースデーカードなどのプレゼントの作成、飾り付けなど、誕生日会を盛り上げるあらゆる発案・準備を行い、子ども達全員が楽しく過ごすことのできる時間を演出することを目標に活動しています。



YAHATA “HAHAHA!” PROJECT が活動拠点にしている八幡には、国際的な施設の多さにも関わらず英語表記が少なく、その少なさに不便を感じている外国人の方がいるという課題、また、日本人の方がそのような外国人の方に積極的に声をかけることが出来ず、お互いの交流の機会が少ないという課題があります。このプロジェクトはそのような課題を解消出来ればとの思いから始まったプロジェクトです。外国人の方と英語でコミュニケーションをとりながら、八幡のまちを歩くという「まちあるき」はこのプロジェクトの活動の一つになっています。

YAHATA “HAHAHA!” PROJECT

8月30日(土)にYAHATA “HAHAHA!” PROJECTの活動の一つである「まちあるき」が開催されました。

まちあるき当日、10名の外国人参加者の方が集まって来ると、あちらこちらから「good morning!」と明るいあいさつが聞こえ始めました。全員がそろい、輪になって自己紹介が行われると、イランやスリランカなど日本以外の国から日本を訪れ、JICA九州で研修をされている方々がまちあるきに参加されていることが分かりました。楽しくまちあるきがスタートし、今回の目的地である仲宿八幡宮に行く途中では、あちらこちらで会話を楽しく声が聞こえ、神社に到着する頃には参加者の緊張もほぐれてきている様子でした。神社に着くと、御手洗や参拝の仕方の説明が行われ、外国人の方は母国ではなかなか体験することのない神社での作法に興味を示し、真剣に話を聞いたり、たくさんの写真を撮ったりしていました。英語で書かれたおみくじも引き、自分の引いたおみくじの結果を学生メンバーも参加者も楽しそうに読んでいました。外国人の方は日本の歴史的建造物だけでなく、仲宿八幡宮に行く途

↓体育館での交流の様子



中の商店街などにも興味津々な様子で、日本人が見過ぎていない何気ない日本を改めて感じる事が出来ました。すれ違う地域住民の方も「これは何の活動?」と声をかけて下さり、YAHATA “HAHAHA!” PROJECTの活動目的の一つである、学生が地域の方と外国人の方をつなげるきっかけとなる瞬間を目にすることができました。まちあるき後は体育館で鬼ごっこなどを行うことで言語を超えた交流も生まれていました。

最初から最後までプロジェクト名どおり“HAHAHA!”という笑いが絶えず、つながりを大切にしながら活動が行われている事が分かりました。「お互い、何も知らない者同士だからこそ近づきあえるし、知りたいと思える。」とリーダーの前田君も話してくれ、このHAHAHA!の輪がどんどん広がってほしいと思いました。(記者:平)



↑商店街の中を歩きました!

世界で共通 “HAHAHA!” の声

いざ立ち上がる 馬島清掃団

9月6日(日)北九州市小倉北区に位置する人口40人の「馬島」にて環境ESDプロジェクトとして清掃活動に参加しました。小倉から船で約20分で到着するこの島では「馬島清掃団」という清掃団体の皆さんが定期的に活動されています。代表の方とご縁があり、活動にグリーンバード小倉チームとして以前から何度も参加させて頂いています。この団体が発足したのは去年の4月です。「馬島」は離島であり、漂着ゴミが多く、放置しておけば更にゴミは増え続けます。そのゴミは生態系に危害を及ぼし、島の景観も悪くしてしまいます。そこでこの事態を何とかしようと、立ち上がったのがこの馬島清掃団です。毎回の活動には、団体関係者の家族、島の方々、地元企業の方、学生と子供から大人までの幅広い年齢の方々が活動に参加されており、多い日には約80名もの方がこの島での活動に参加しています。

今回の活動は悪天候のためか19名と少数精鋭でした。島に到着し、海岸を見ると、台風の影響で大量の漂着ゴミが待ち構えていました。漁業に使用するブイの発砲スチロールや網、プラスチック容器、海外表記のゴミなど様々です。いかに私達人間が排出したゴミが生態系を脅かしているか改めて気づかされました。

↓清掃をする前の海岸



↑清掃をした後の海岸

馬島の魅力とは何か？私自身が参加して思った事は、地元の方と一緒に活動しているという事です。ただ一方的に島の外から来た人間が、清掃活動をしようとしても、それでは継続的な活動にはならないと思います。地元の方々の理解があり、その方々と共に活動することで、参加者との関係づくりが成されていくのではないかと思います。また、島をきれいにする「清掃」とは多世代交流の一つの手段として認識してもいいのではないかと思います。活動中に地元の方々にお礼を言われたり、参加していた小学生との関わりであったり、老若男女問わず、清掃というものを通じて交流することができました。この活動は、一つのコミュニティづくりをする、というグリーンバードの理念にも通ずるものがあります。

そしてこのコミュニティはこれからもどんどん広がっていくのではないかと思います。清掃活動という事がメインではあるものの、人々の交流の場として魅力あるこのフィールドには人々が集まる理由がありました。また次回も参加したい。そう思えた私があります。多くの人々と関われたからこそ、そう思えました。島もきれいにして、多くの方と繋がる事ができる。貴方も参加してみたいはいかがですか？(記者:野口)

環境 ESD プロジェクト

環境 ESD プロジェクトは、環境をテーマに学内外で活動しています。環境都市である北九州ですが、大学が位置する北方地区周辺でもなにか活動ができないだろうかと立ち上がったのがこのプロジェクトです。活動の一環として、「green bird」という清掃活動を北方で月3回行っています。このグリーンバードとは、お揃いのピブスを着て、多くの人に活動をしていることを見てもらい、ポイ捨ては「かっこ悪い」と思ってもらうのが目的です。

《小倉チーム》
毎週火曜日 18:30~19:30
毎月第1土曜日 13:30~14:30
まなびとESDステーション集合

《北方チーム》
毎月第1・3・5金曜日 16:30~17:30
北方市民センター集合

Green bird



Information

『infomation』では1日単位からの地域活動を紹介するコーナーです。

英語で遊ぼう

【活動日時】金曜日

【申込メ切】活動日の1週間前まで

【活動内容】

若園保育園にて、就学前の子どもたち(5~6歳)20名程度を対象に、月に1回程度英語に触れあう時間を過ごしてもらう活動です。英語が得意な方や子どもたちと触れ合うのが好きな方にオススメです。

グレートサンタラン

【活動日時】11月22日

【申込メ切】10月20日

【活動内容】

病気と闘う子どもたちにクリスマスプレゼントを贈るチャリティーイベント「グレートサンタラン」の当日スタッフを行います。主な活動は、受付や参加者の誘導などです。

小学生かるた大会審判員

【活動日時】11月23日

【申込メ切】10月30日

【活動内容】

西日本総合展示場にて行われるかるた大会で審判員をします。主に行ってもらう活動は、札並べ、どちらが先に取ったかの判定、採点などです。かるたに興味のある方は、ぜひ参加してみてください。

犬猫を守る会スタッフ

【活動日時】毎週土日・祭日10時~16時半

【申込メ切】随時受付

【活動内容】

門司港レトロにて、保護したペットの里親探しや公開譲渡会が行われており、その会場準備や犬・猫のお世話をします。犬や猫が好きな方にオススメです。

詳しい情報やその他活動は421Lab.まで!

編集後記

らぼだよりを休刊して4ヶ月。より良い広報紙を目指して、広報班全員でタイトル・デザイン・内容などを1から考え直しました。様々なフリーペーパーや雑誌を参考にすることで、デザインを改善し、イベントに参加した人を取材したり、実際に自分たちがイベントに参加したりして記事を書くことで、内容をより深く詳しいものにしました。

月一回発行の『Lab.Times』をこれからもよろしくお願ひします。



編集長：下田康之

《プロフィール》

地域創生学群3年

3年間広報班に所属し今年リーダーを務めている。趣味はゲームと読書。ゲームではスプラトゥーンを楽しんでいたが、最近飽きた模様。一方、伊藤計劃さんの「ハーモニー」という本にはまっている。

地域共生教育センター(421Lab.)公式Twitter
フォローよろしくお願いします!!!

 @421Lab



北九州市立大学 地域共生教育センター(421Lab.)
〒802-8577

北九州市小倉南区北方4-2-1(北方キャンパス2号館1階)

Open / 10:00-18:00(月~金)

[Tel] 093-964-4092 [Fax] 093-964-4088

[Mail] info421@kitakyu-u.ac.jp

[Web & Facebook & Twitter]

421Lab.

検索